

中小企業景況調査報告書

2024年7月～9月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	香美市	大豊町	本山町	土佐地区
	いの町	春野	仁淀川町	中土佐町	津野町
	梶原町	四万十町	三原村	大月町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 149企業 (回答率：99.3%)

2. 調査対象期間

2024年7月～9月期を対象とし、調査時点は2024年9月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業種	回答企業数	構成比 (%)
製造業	34	22.8
建設業	23	15.4
小売業	42	28.2
サービス業	50	33.6
合計	149	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2024年7月～9月期）の状況

[製造業]

(DI値)

項目 \ 期	2024年4月～6月	2024年7月～9月	対前期比
売上額	9.7	△ 3.0	12.7ポイント下降
採算	△ 3.2	△ 8.8	5.6ポイント下降
資金繰り	3.3	△ 9.1	12.4ポイント下降

[建設業]

(DI値)

項目 \ 期	2024年4月～6月	2024年7月～9月	対前期比
完成工事額	0.0	△ 17.4	17.4ポイント下降
採算	△ 28.6	△ 21.7	6.9ポイント上昇
資金繰り	0.0	△ 13.1	13.1ポイント下降

[小売業]

(DI値)

項目 \ 期	2024年4月～6月	2024年7月～9月	対前期比
売上額	△ 37.9	△ 31.0	6.9ポイント上昇
採算	△ 32.4	△ 38.1	5.7ポイント下降
資金繰り	△ 16.2	△ 2.4	13.8ポイント上昇

[サービス業]

(DI値)

項目 \ 期	2024年4月～6月	2024年7月～9月	対前期比
売上額	9.7	10.0	0.3ポイント上昇
採算	2.4	△ 20.0	22.4ポイント下降
資金繰り	0.0	△ 10.0	10.0ポイント下降

○来期見通し(2024年10月～12月期)

(DI値)

業種 \ 区分	売上額 完成工事額	採算	資金繰り
製造業	5.9	△ 8.8	△ 6.1
建設業	△ 43.5	△ 30.5	△ 17.4
小売業	△ 42.8	△ 33.3	△ 16.6
サービス業	△ 16.0	△ 32.0	△ 12.0

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

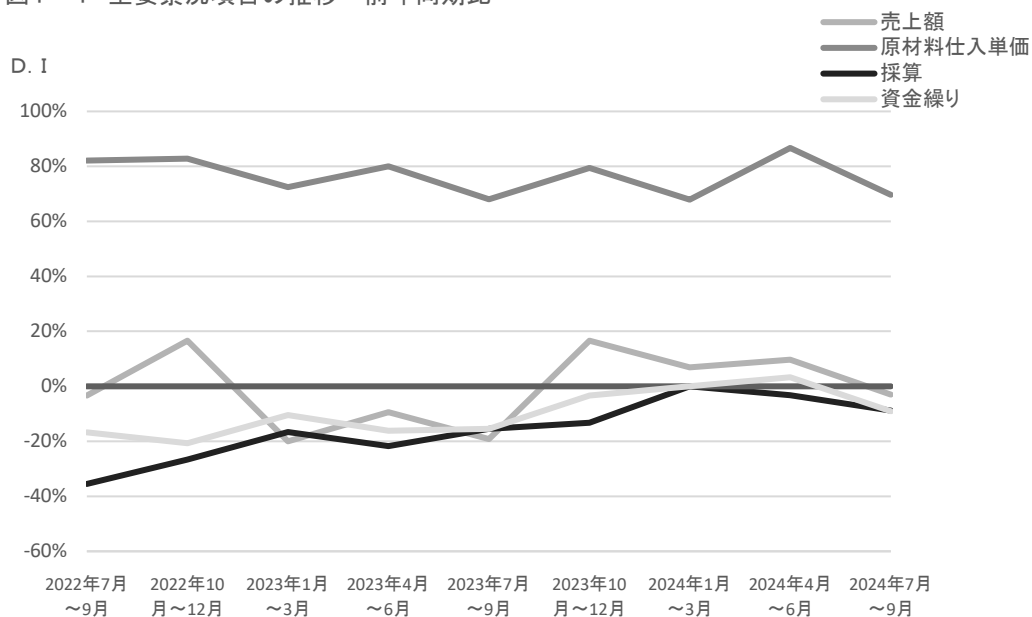
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、9.7→△3.0と12.7ポイント下降
(同全国値は、△11.4→△13.9と2.5ポイント下降)
- ・採算DI値は、△3.2→△8.8と5.6ポイント下降
(同全国値は、△23.4→△25.0と1.6ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、3.3→△9.1と12.4ポイント下降
(同全国値は、△13.2→△14.7と1.5ポイント下降)

今期は、売上DIと資金繰りDIがマイナスに悪化、採算DIのマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIがプラスに良化し、採算DIは変動なし、資金繰りDIはマイナス幅の減少が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	0.0	0.0	△ 3.3	16.6	△ 20.0
原材料仕入単価	70.0	86.7	82.1	82.8	72.4
採算	△ 29.0	△ 25.8	△ 35.5	△ 26.6	△ 16.6
資金繰り	△ 6.6	△ 9.7	△ 16.7	△ 20.7	△ 10.4

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

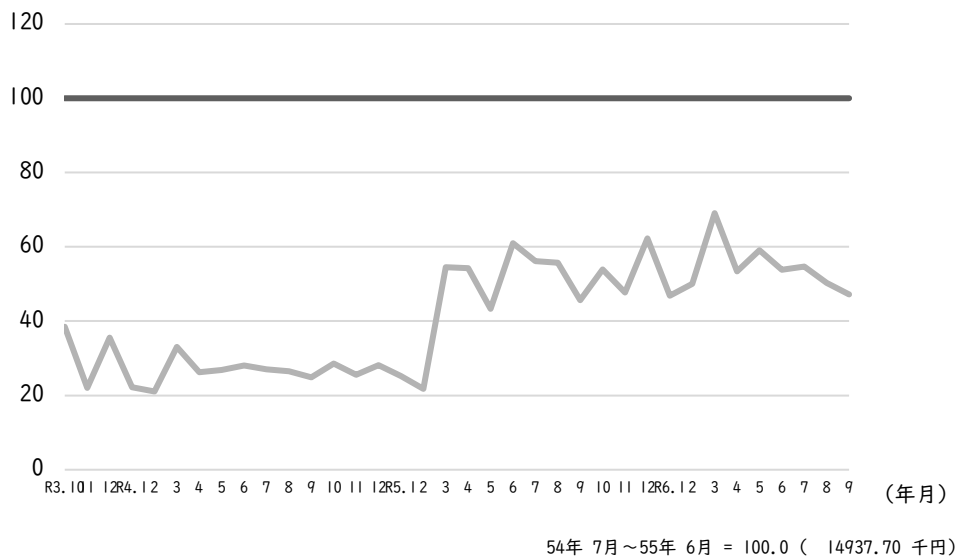


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

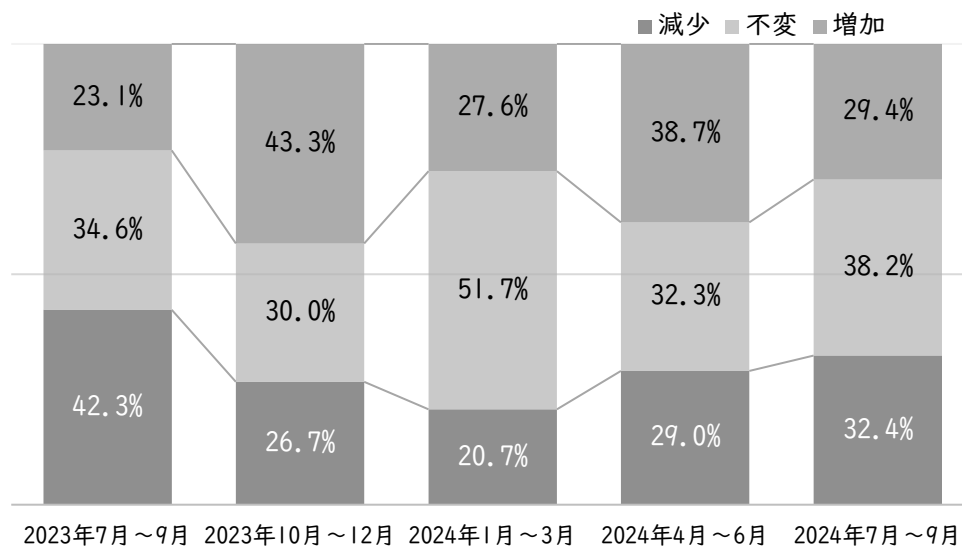


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

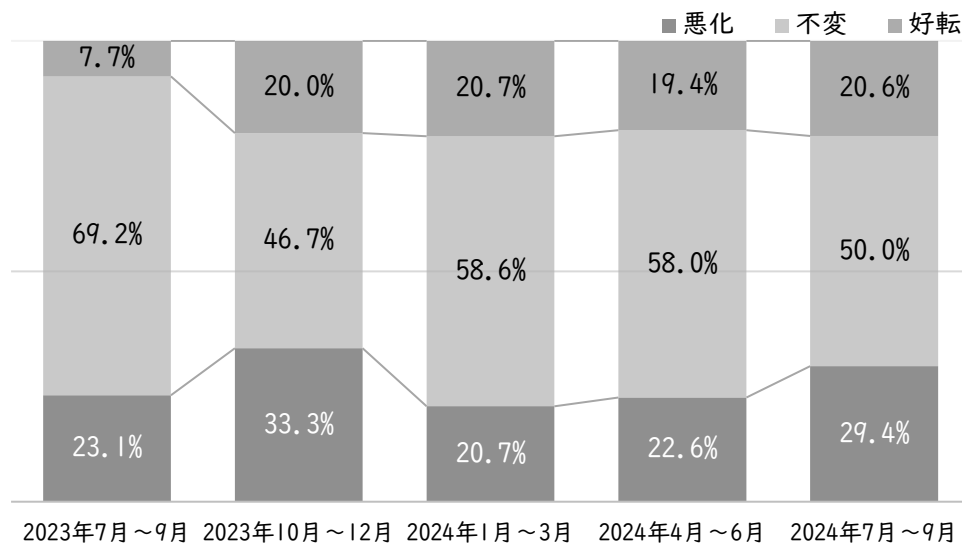


図 1-5 設備投資の状況

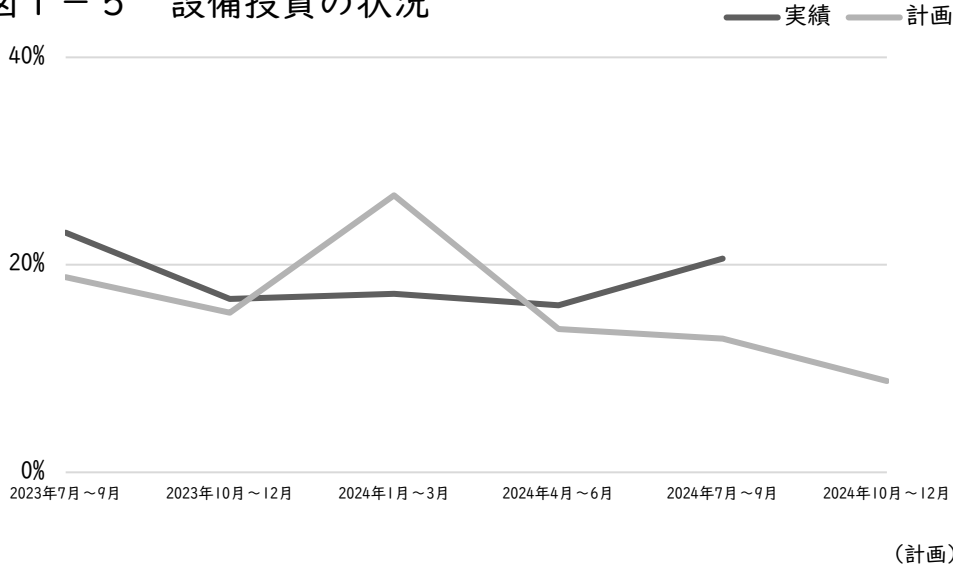


図 1-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

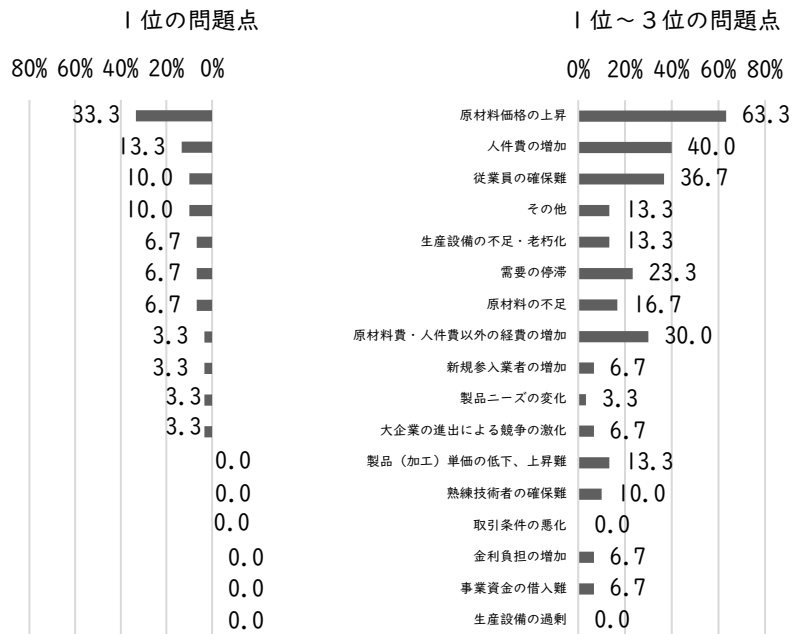


図 1-7 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

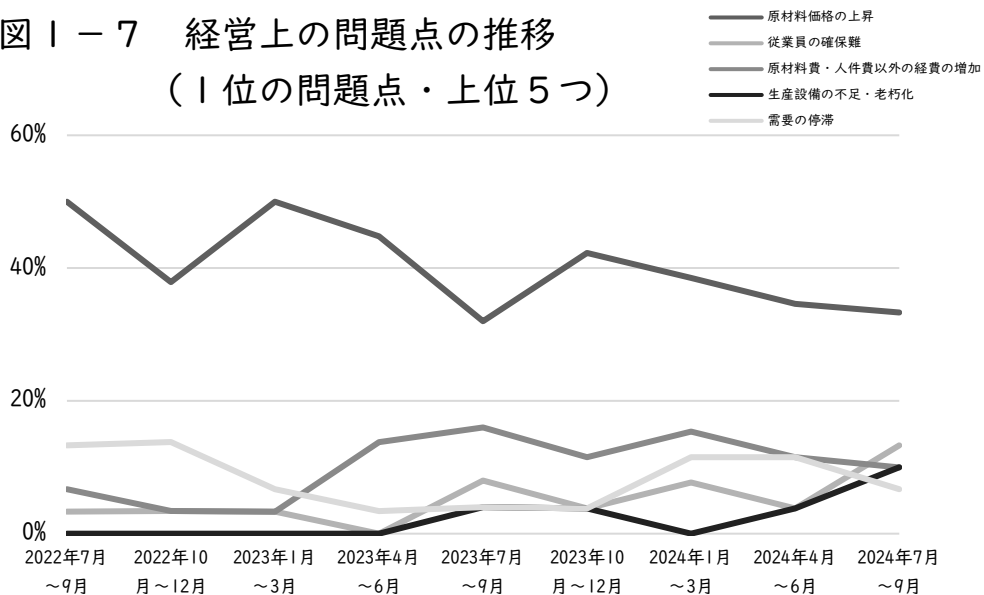


図 1 - 8 売上額の状況 - 前年同期比 -

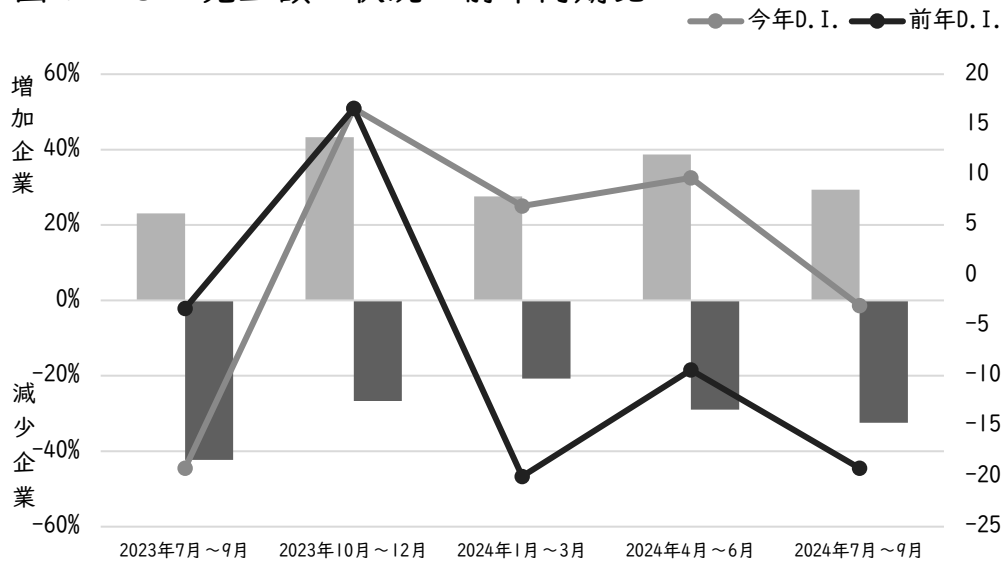
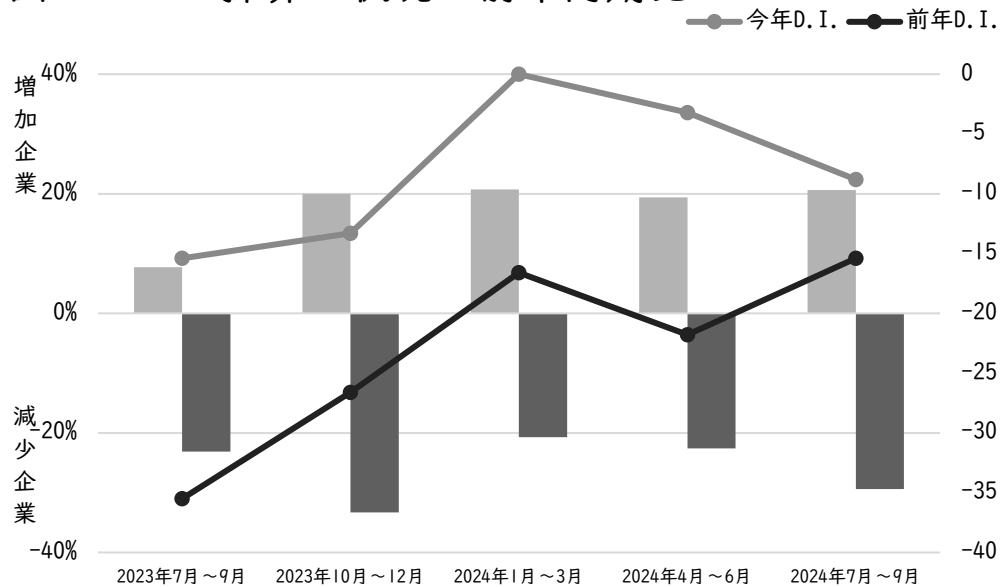


図 1 - 9 採算の状況 - 前年同期比 -



建設業の動向

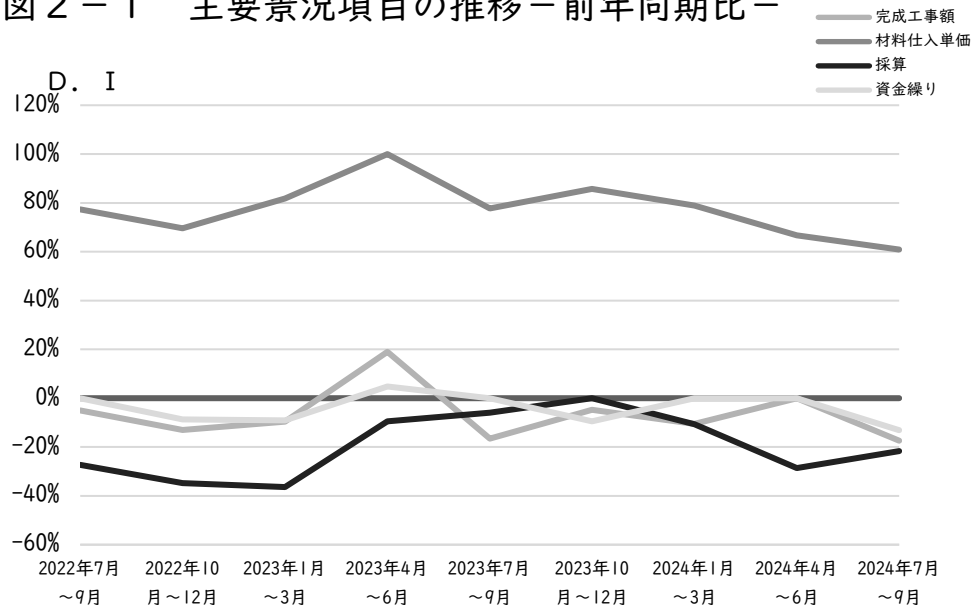
○主要景況項目から見た概要

- ・ 完成工事額DI値は、0.0→△17.4と17.4ポイント下降
(同全国値は、△9.3→△15.2と5.9ポイント下降)
- ・ 採算DI値は、△28.6→△21.7と6.9ポイント上昇
(同全国値は、△23.9→△23.7と0.2ポイント上昇)
- ・ 資金繰りDI値は、0.0→△13.1と13.1ポイント下降
(同全国値は、△7.6→△10.2と2.6ポイント下降)

今期は、完成工事額DIと資金繰りDIがマイナスに悪化し、採算DIのマイナス幅が縮小した。

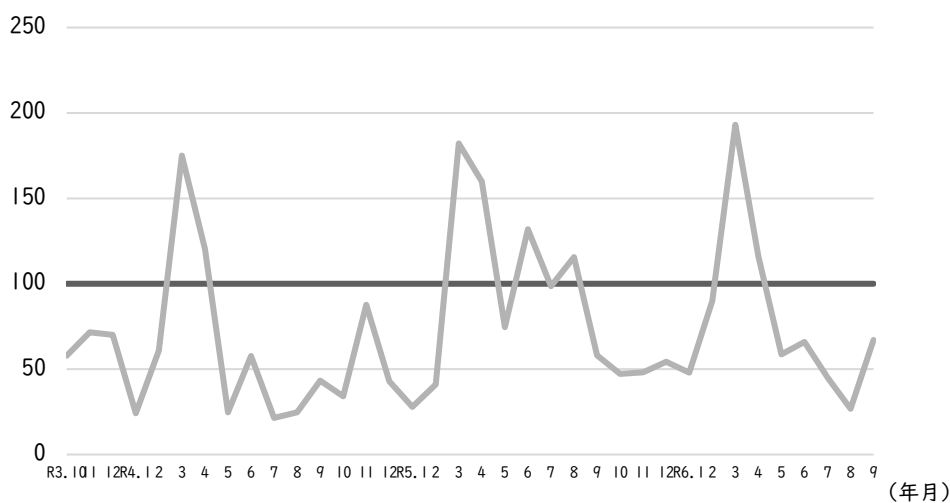
来期は、完成工事額DIと採算DIと資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	△ 45.4	△ 17.4	△ 5.0	△ 13.0	△ 9.6
原材料仕入単価	73.9	87.0	77.3	69.6	81.8
採算	△ 47.8	△ 43.5	△ 27.3	△ 34.8	△ 36.4
資金繰り	△ 8.7	△ 8.7	0.0	△ 8.7	△ 9.1

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

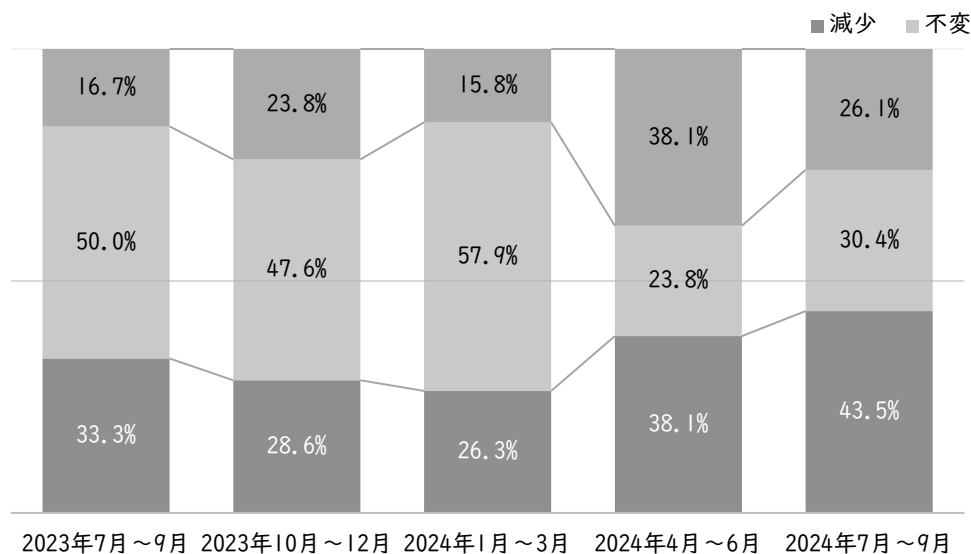


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

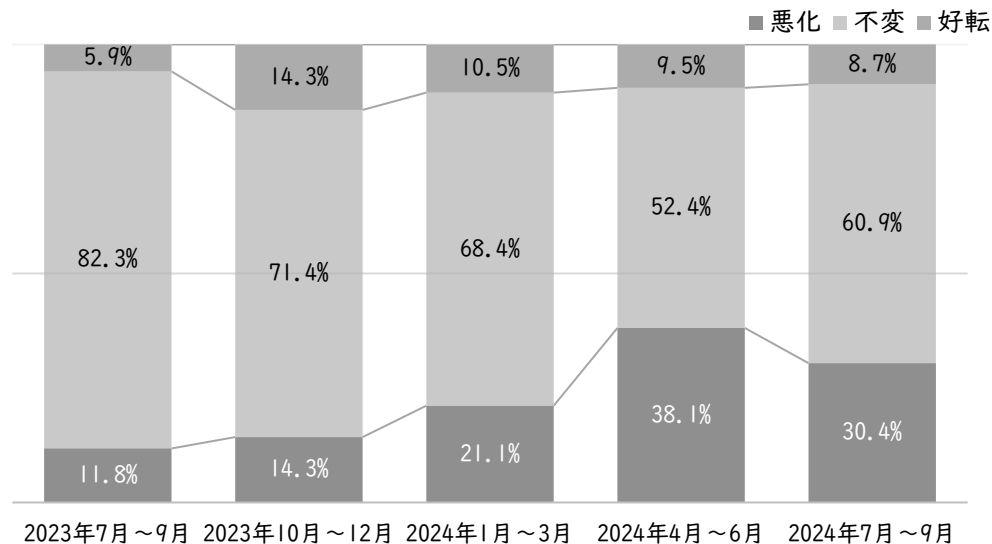
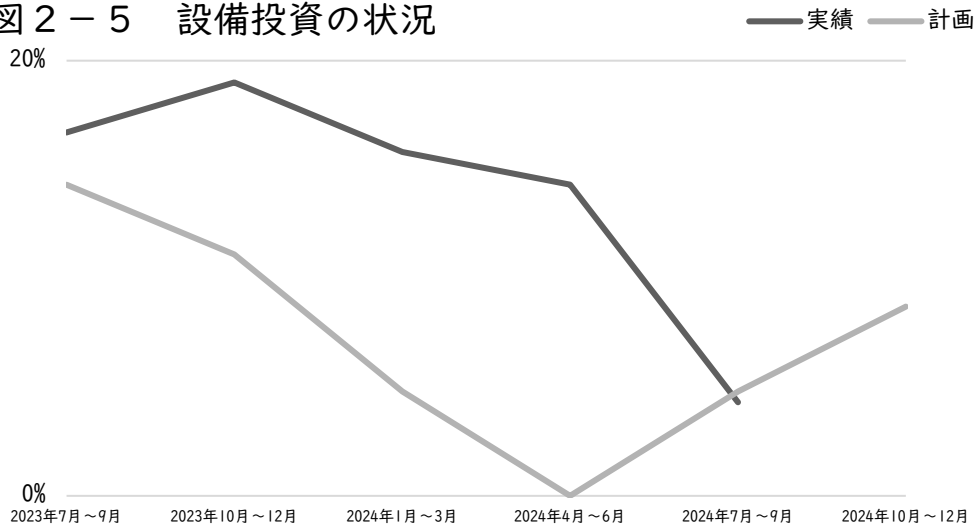


図 2 - 5 設備投資の状況



(計画)

図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

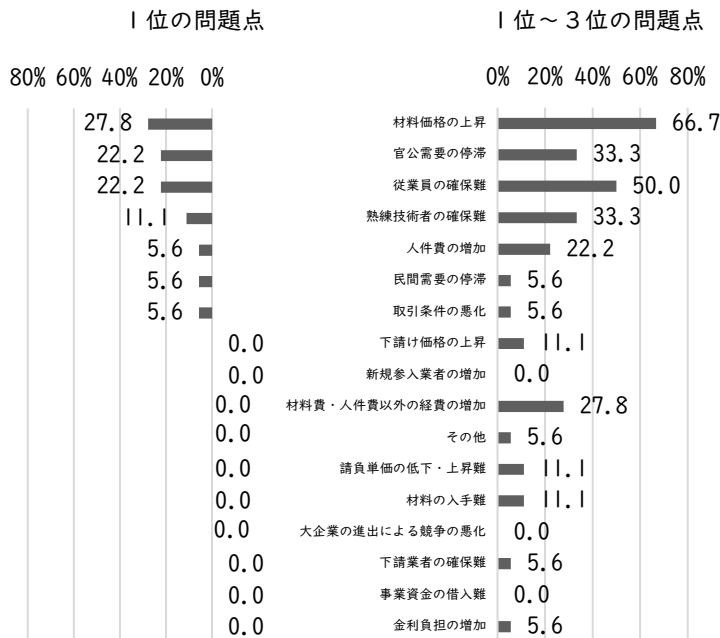


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

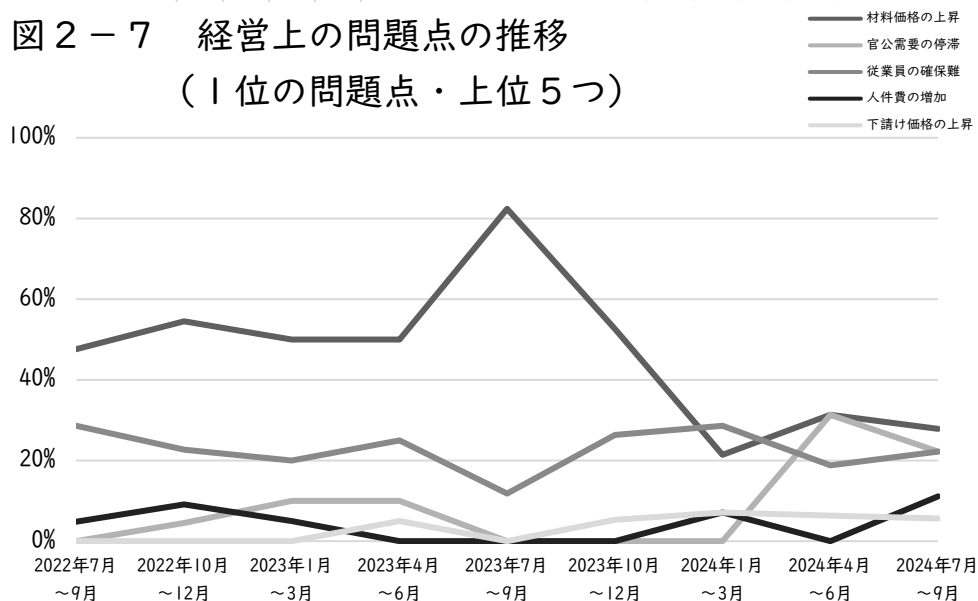


図 2 - 8 完成工事額の状況－前年同期比－

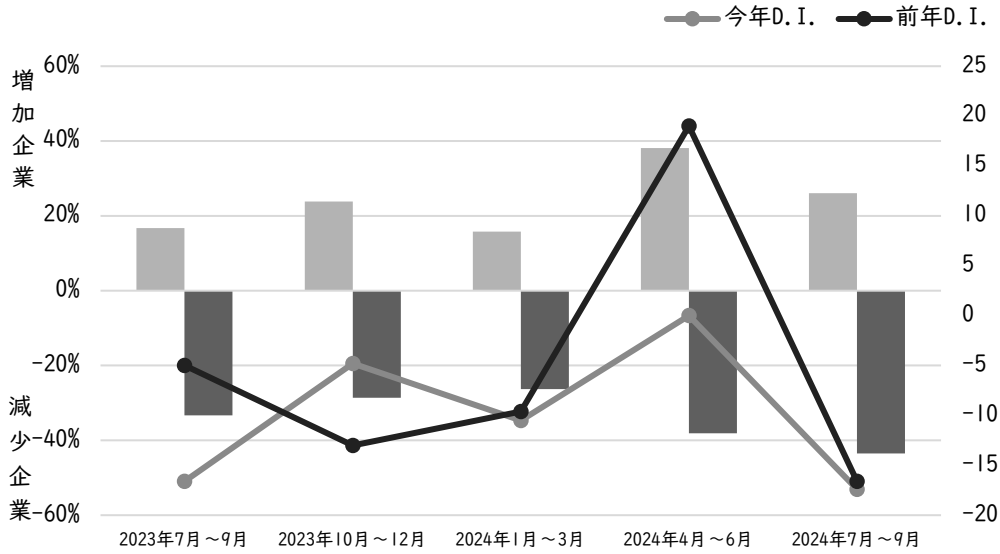
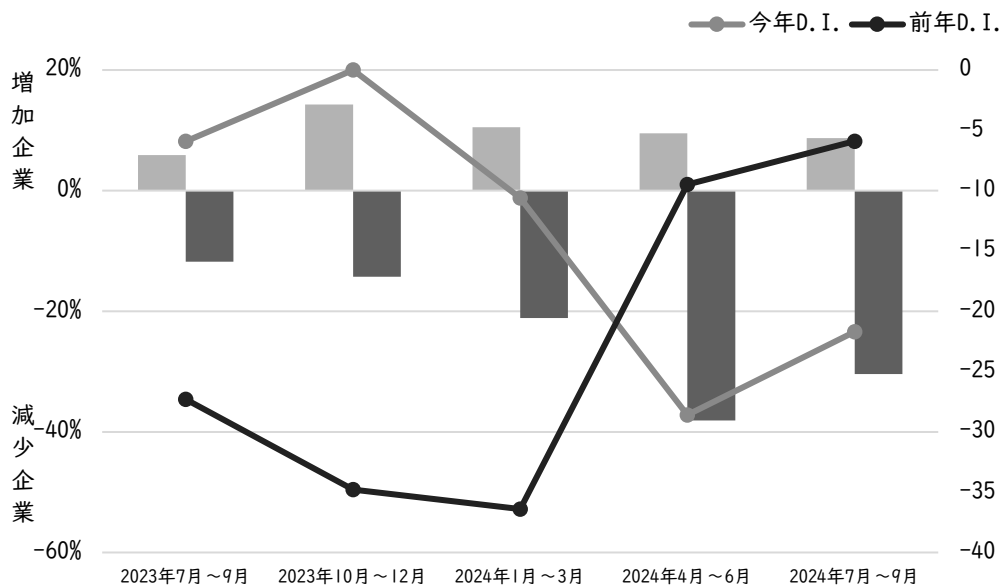


図 2 - 9 採算の状況－前年同期比－



小売業の動向

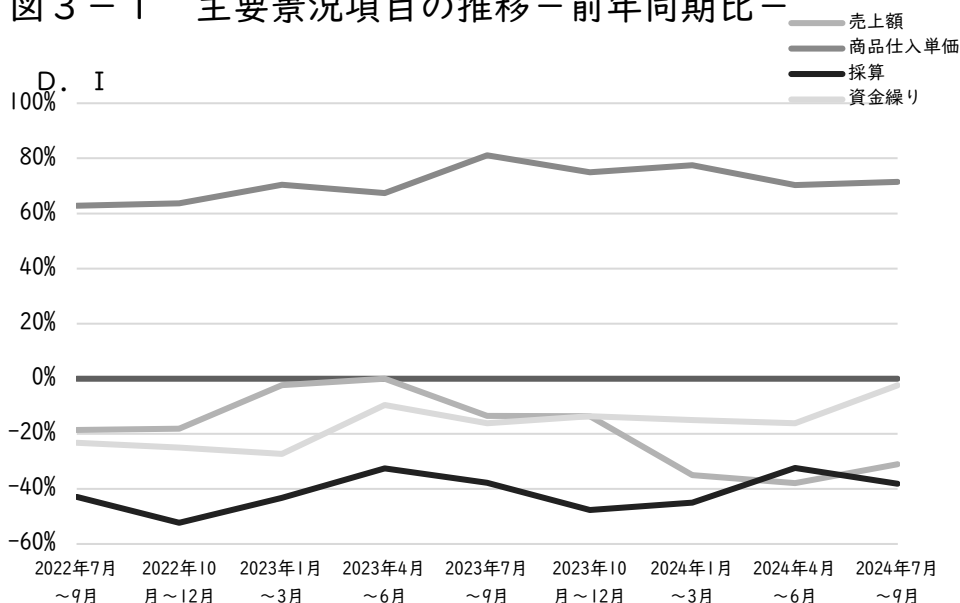
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 37.9 \rightarrow \Delta 31.0$ と6.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 20.1 \rightarrow \Delta 21.5$ と1.4ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 32.4 \rightarrow \Delta 38.1$ と5.7ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 32.1 \rightarrow \Delta 30.3$ と1.8ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 16.2 \rightarrow \Delta 2.4$ と13.8ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 20.2 \rightarrow \Delta 19.0$ と1.2ポイント上昇)

今期は、売上額DI・資金繰りDIでマイナス幅が縮小し、採算DIでマイナス幅が拡大した。

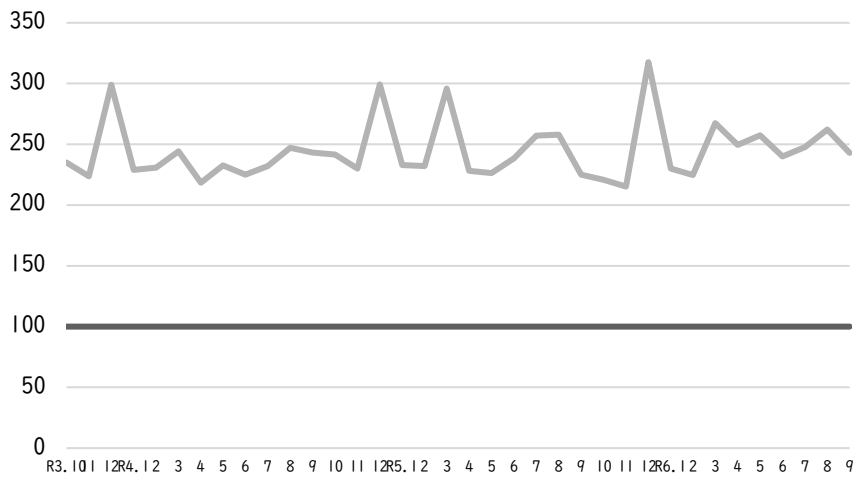
来期は、売上額DIと資金繰りDIでマイナス幅が拡大し、採算DIはマイナス幅の縮小が見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$	$\Delta 18.2$	$\Delta 2.3$
原材料仕入単価	48.9	68.2	62.8	63.7	70.4
採算	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$	$\Delta 52.3$	$\Delta 43.2$
資金繰り	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 27.3$

図3-2 売上額推移（月別指数）



（年月）

54年 7月～55年 6月 = 100.0（ 4597.40 千円） 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

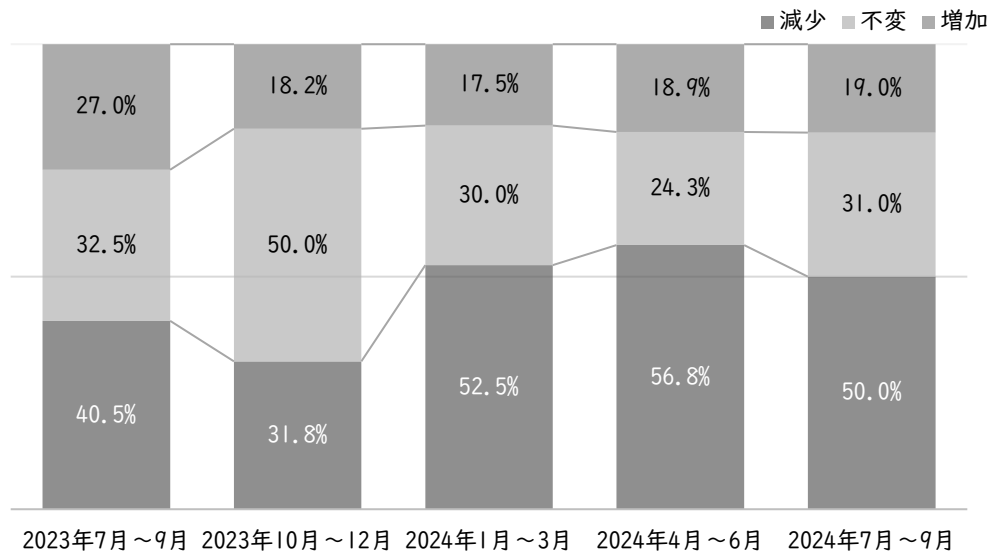


図3-4 採算の状況－前年同期比－

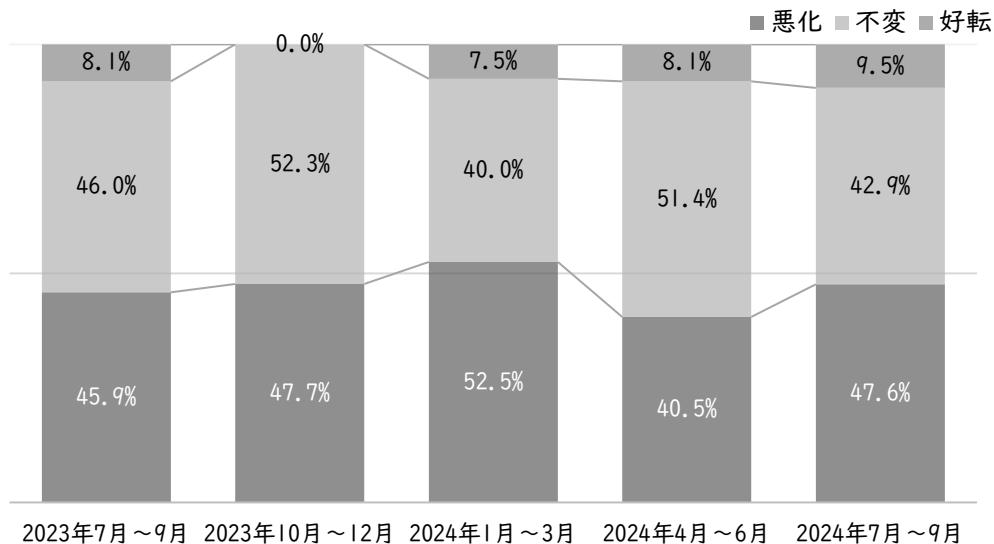


図3-5 設備投資の状況

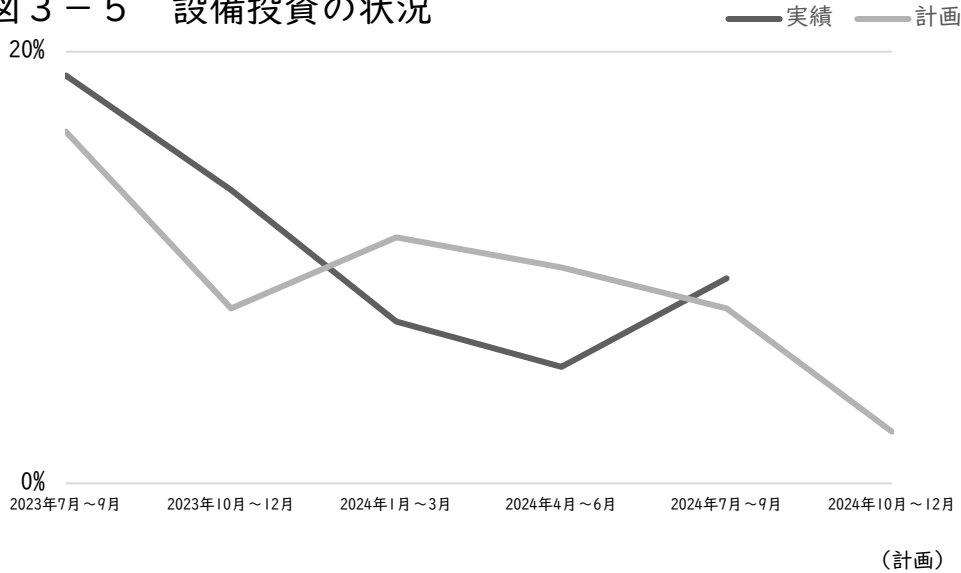


図3-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

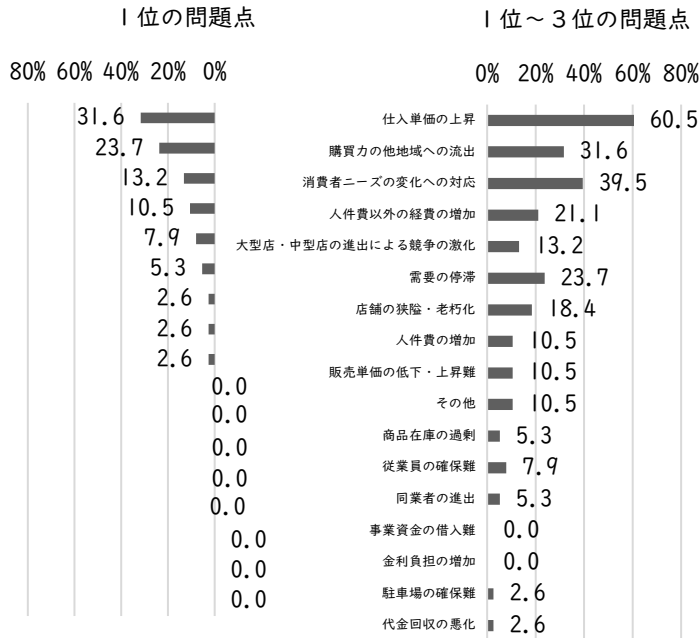


図3-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

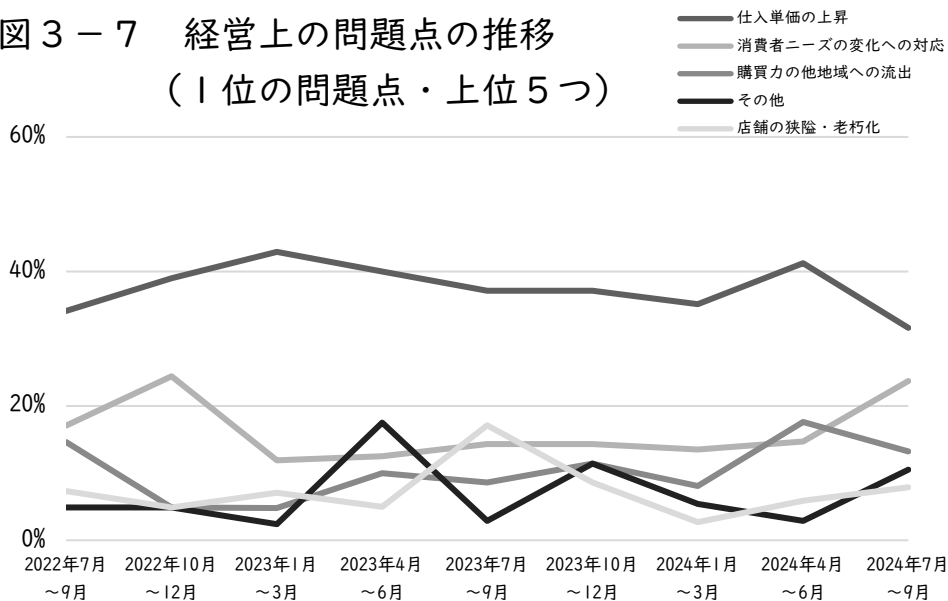


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

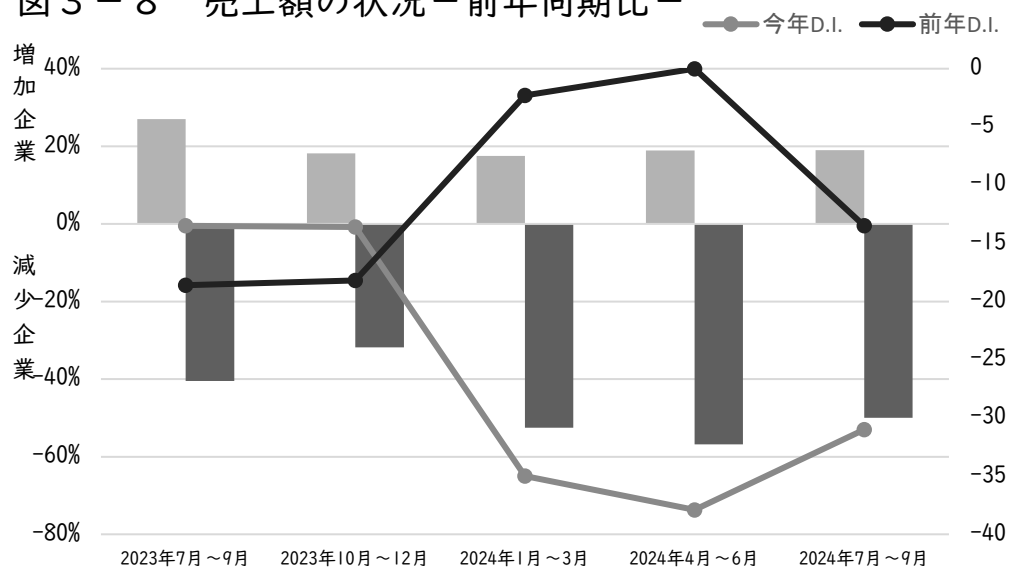
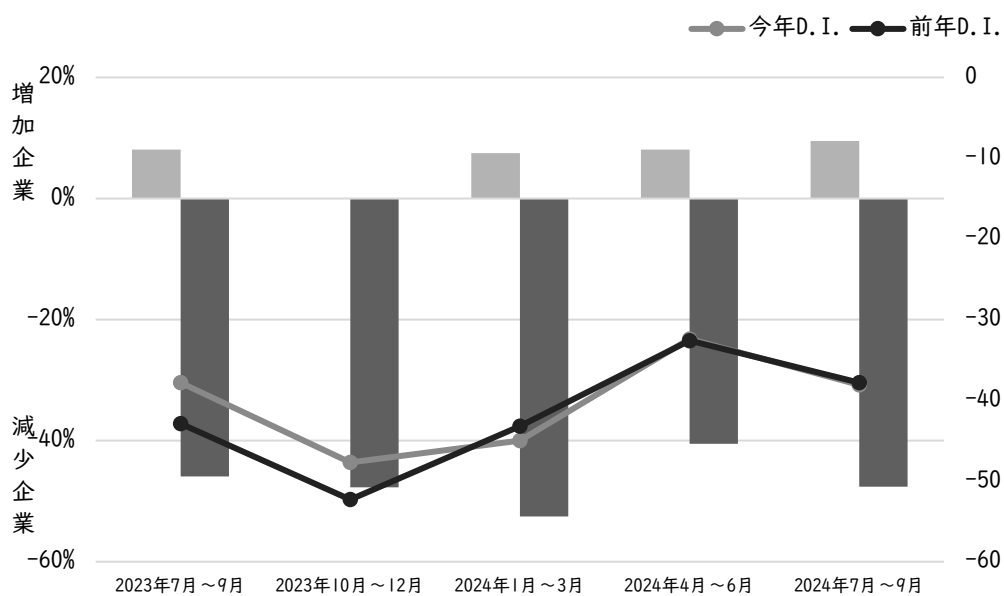


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

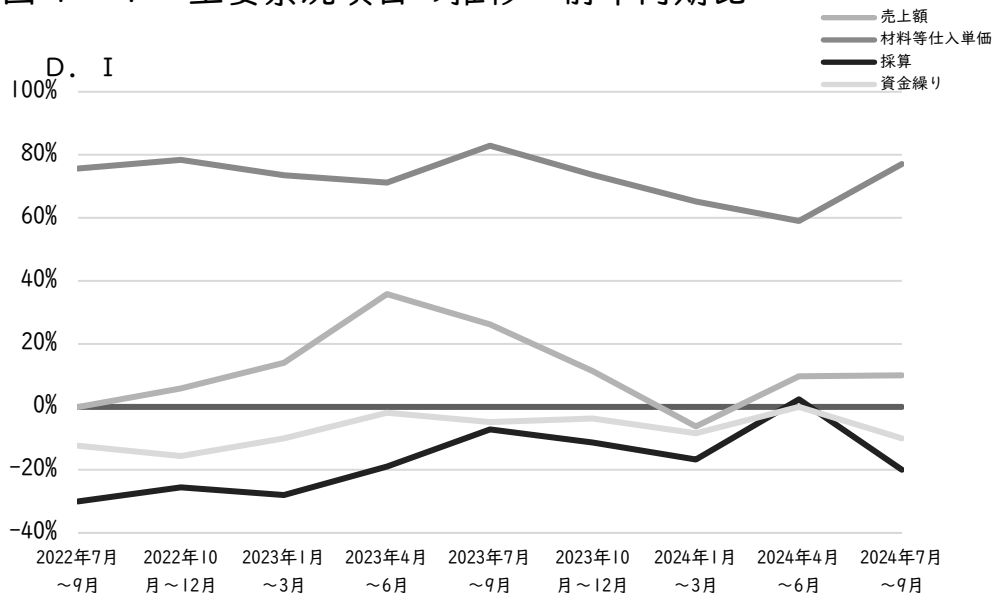
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、9.7→10.0と0.3ポイント上昇
(同全国値は、 Δ .9→ Δ 1.0と0.1ポイント下降)
- ・採算DI値は、2.4→ Δ 20.0と22.4ポイント下降
(同全国値は、 Δ 24.1→ Δ 22.1と2.0ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、.0→ Δ 10.0と10.0ポイント下降
(同全国値は、 Δ 10.9→ Δ 11.3と0.4ポイント下降)

今期は、売上額DIのプラス幅が拡大し、採算DIと資金繰りDIがマイナスに悪化した。

来期は、売上額DIがマイナスに悪化し、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の拡大が見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	Δ 43.1	1.9	0.0	5.9	14.0
原材料仕入単価	38.8	64.0	75.6	78.4	73.5
採算	Δ 46.0	Δ 27.4	Δ 30.0	Δ 25.5	Δ 28.0
資金繰り	Δ 24.0	Δ 5.8	Δ 12.3	Δ 15.6	Δ 10.0

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

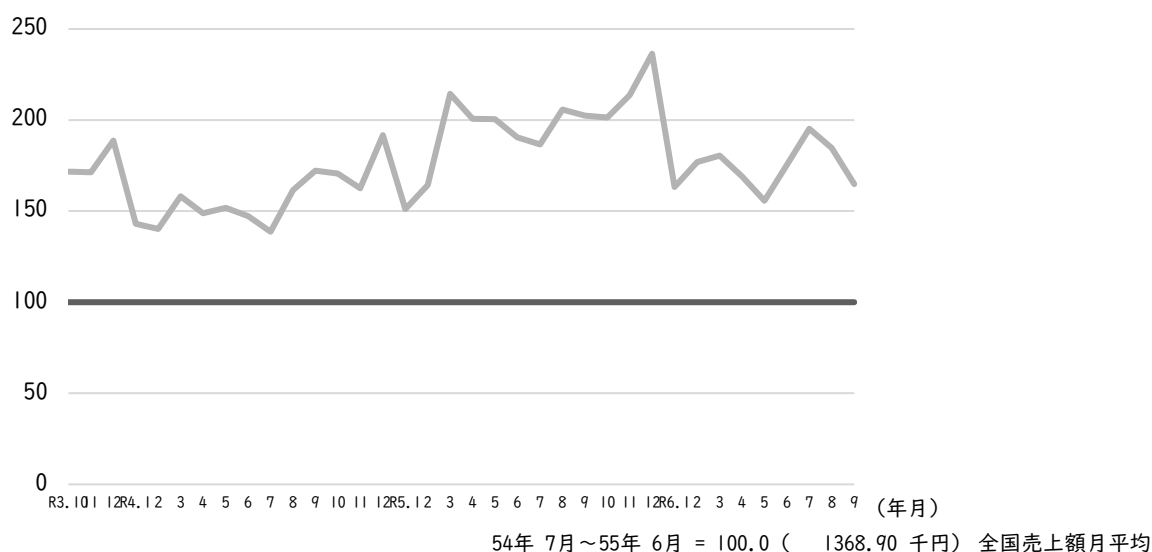


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

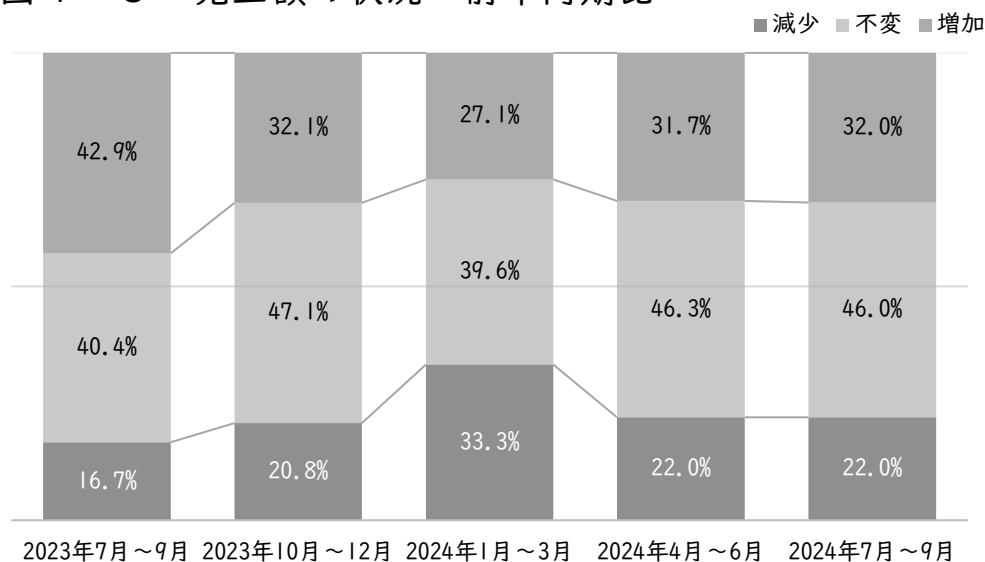


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

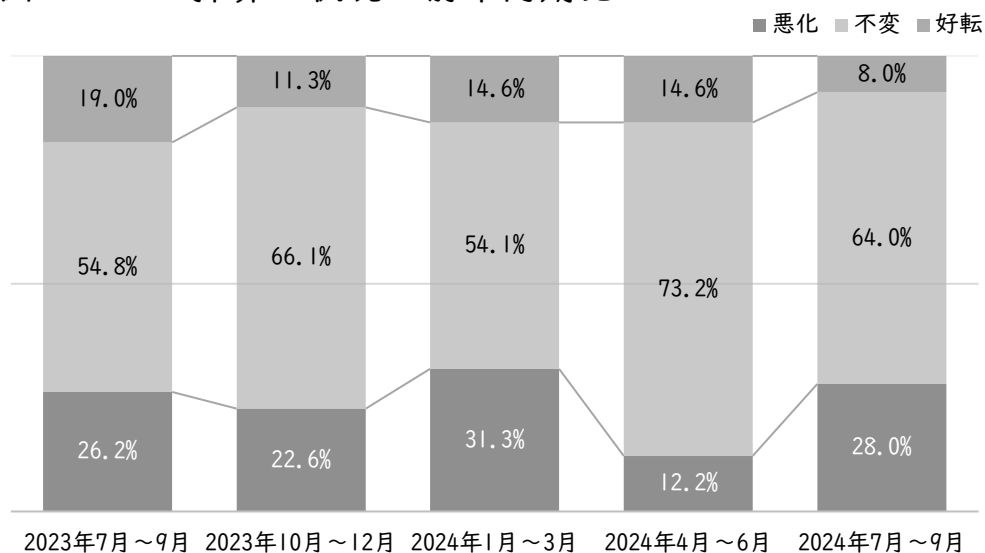


図4-5 設備投資の状況

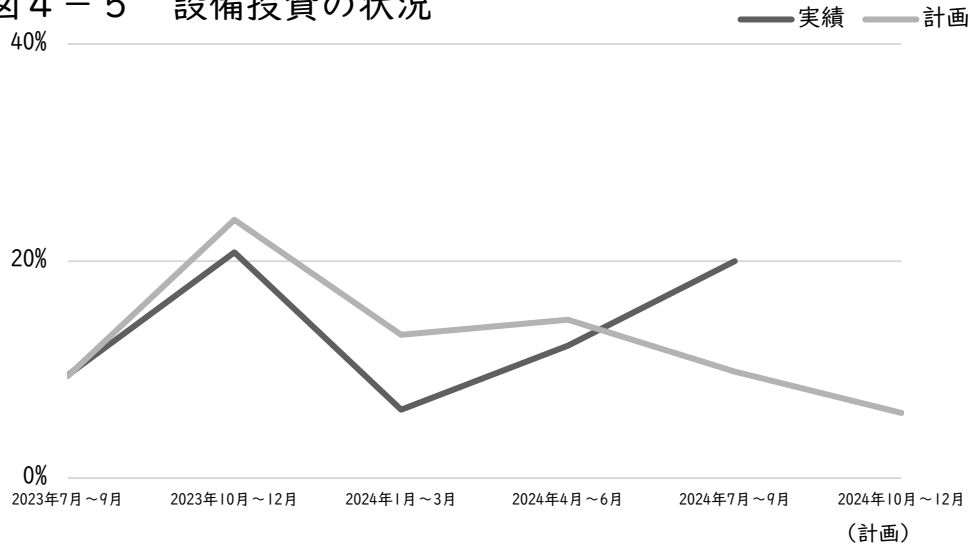


図4-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

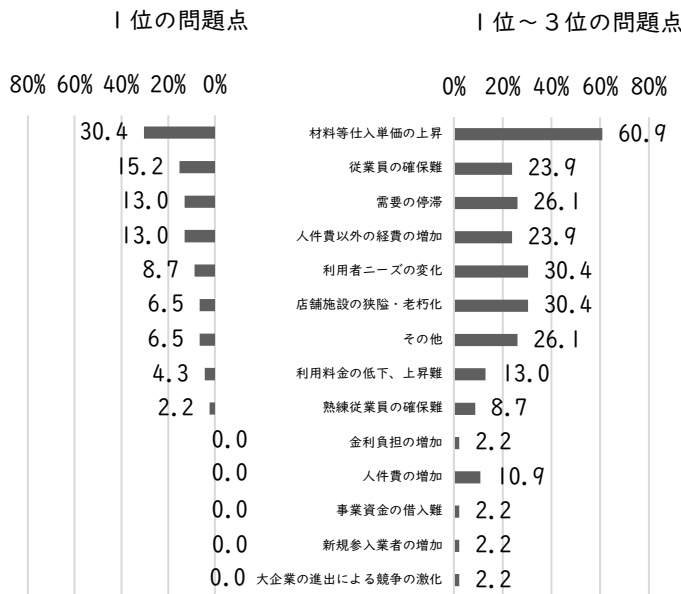


図4-7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

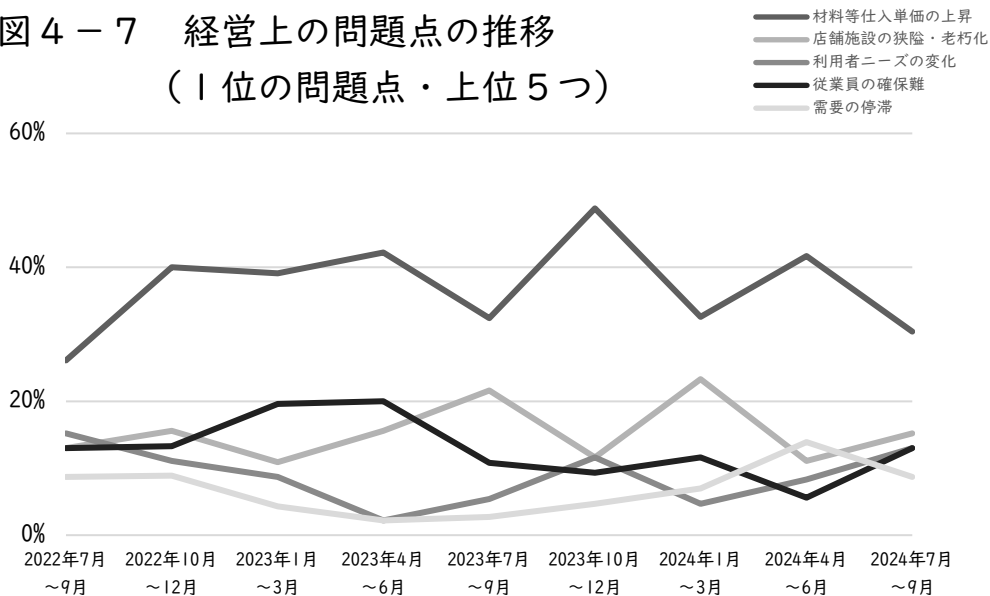


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

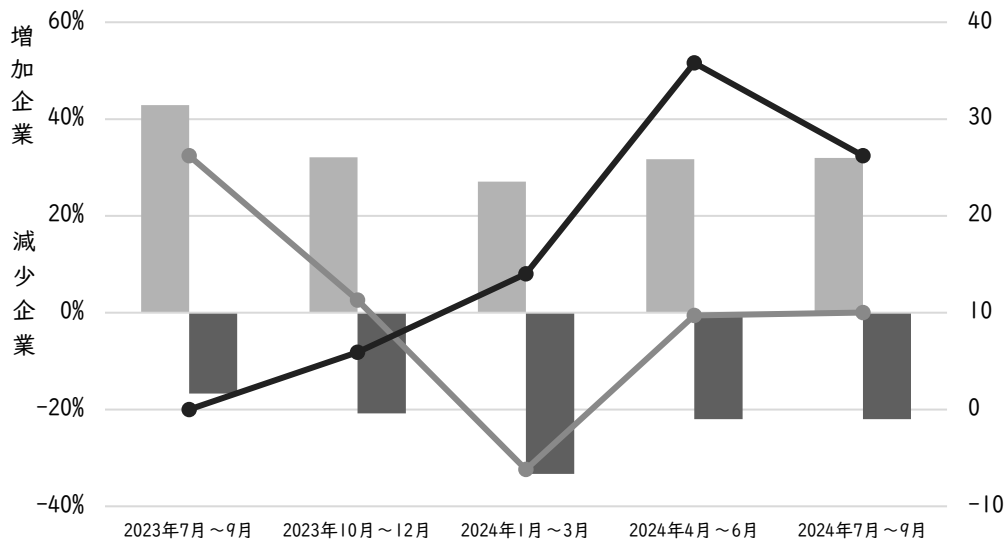
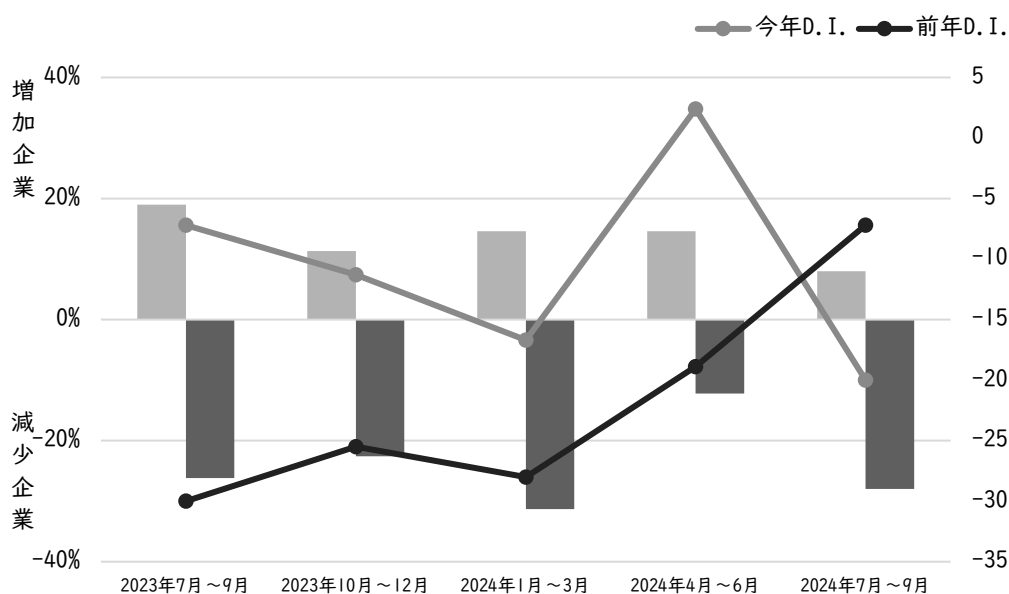
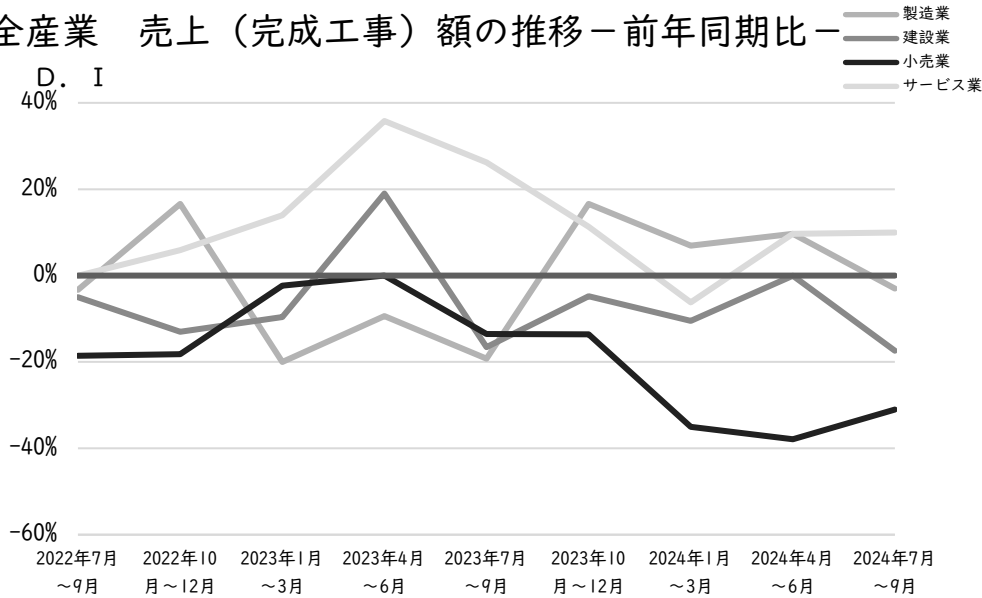


図4-9 採算の状況－前年同期比－

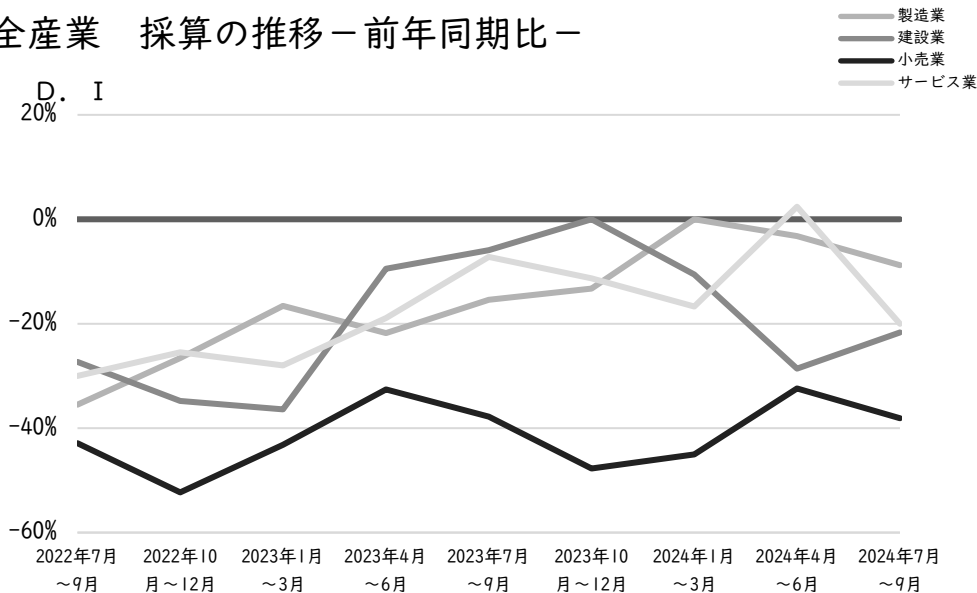


全産業の動向

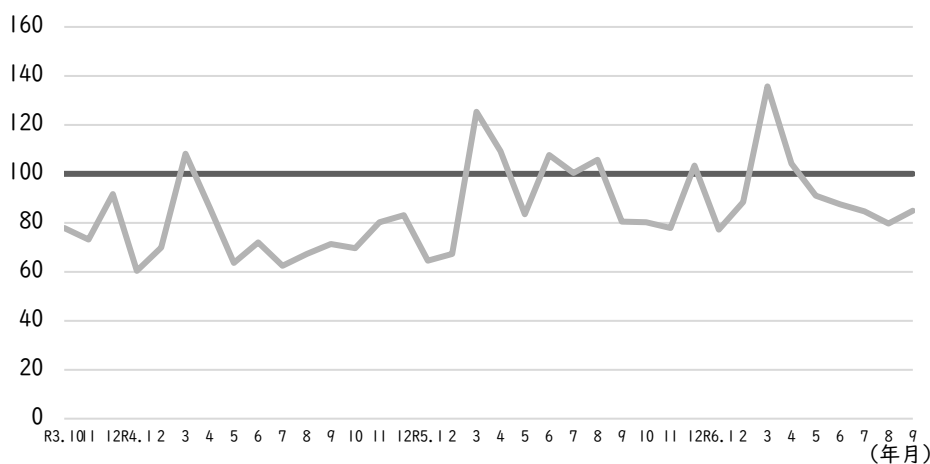
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均